

ユニバーサルキャンプ 10年の歩み

2001年～2009年

第1回ユニバーサルキャンプ大会

老若男女・障害の有無を問わずみんなで楽しむ

第1回ユニバーサルキャンプ大会が開催されたのは2001年10月でした。それまでも1999年日本オート・キャンプ協会主催により栃木県の日光だいや川公園オートキャンプ場で開催された「全日本バリアフリー・オートキャンプ大会」をはじめとして、障害者をキャンプに取り込む試みは「バリアフリーキャンプ」という名前で行われていました。しかしながらそれらはややもすれば、健常者の<スタッフ>が障害者の<参加者>を世話するという福祉キャンプ＝団体キャンプに陥りがちでした。しかしオートキャンプは本来自立したファミリーもしくは個人で楽しむレジャーであり、そこには年齢や性別や障害の有無による違いはないはず。そこで「ファミリーキャンプ、シニアキャンプ、ユースキャンプ、バリアフリーキャンプを統合した日本で初めての試み」として、冒頭のスローガンを掲げた「ユニバーサルキャンプ」を提唱し、それを実践に移したのが第1回ユニバーサルキャンプ大会でした。

大会の会場となったのは群馬県の榛名湖オートキャンプ場、開催日は2001年10月13日（土）から14日（日）までの2日間・遠くは大阪や台湾からも参加し、小さい子供からユース、ファミリー、高齢者まで20組46人が集まり、健常者・障害者が一緒に楽しくキャンプしました。初日の土曜日には紙芝居、木登り、ビンゴ大会、キャンプファイアー、野外コンサートなどのイベントを楽しみました。日曜日には、榛名湖でラフトツアーを行いました。



大会の一環としてキャンプフォーラムを持ちました。参加者約20人がテントサイトで輪になって座り、一人一人が大会の感想を述べました。「とても楽しかった。来年もぜひ開催してもらいたい」という感想から、障害者の視点から見たキャンプ場施設の問題点など、いろいろな意見が出ました。

大会概要

開催日：2001年10月13日（土）～14日（日）

開催場所：榛名湖オートキャンプ場

主催：IFCC／アルファキャンパーズ

後援：（社）日本オート・キャンプ協会

（財）群馬県観光開発公社

参加者：46人

内訳：ファミリー：8家族 シニア：2組 ユース：8人 単身者：3人

外国人：1人 障害者：6人（脳性麻痺2人、肢体障害2人、全身障害2人）



第2回ユニバーサルキャンプ大会

ユニバーサルテント

第2回ユニバーサルキャンプ大会は、2002年6月8日～9日、第1回と同じ榛名湖オートキャンプ場で開催されました。前回は紅葉の季節でしたが、今回はツツジが美しい時期を選びました。ハルゼミの鳴き声が会場全体を包みこみ、21組49人が参加した大会に花を添えました。

特筆すべきこととして、(株)小川キャンパルがこの大会のために「ユニバーサルテント」の試作品を用意してくれました。身障者の視点で使いやすさを工夫したテントを参加者に実際に使ってもらい、意見を聞きました。このほかにワンタッチで設営・収納できるテントを展示し、参加者の注目を集めました。

夜中から雨が降り出しましたが、翌日の日曜日は雲ひとつない晴天。各自朝食を取った後、「ジャンケン大会」を行いました。第1部はコールマン・ジャパンと小川キャンパルが提供してくれた商品が景品。大人も子供も一緒になってジャンケンして、全員が景品をもらいました。第2部は昨夜飲み残した各地のお酒の在庫処分。もちろんこちらはジャンケンに参加できるのは大人だけですが、第1部以上に力が入っていたようです。

大会概要

開催日：2002年6月8日(土)～9日(日)

開催場所：榛名湖オートキャンプ場

主催：IFCC/アルファキャンパーズ

後援：(社)日本オート・キャンプ協会/(財)群馬県観光開発公社

協賛：(株)小川キャンパル/(株)コールマン・ジャパン

参加者：10歳未満：3人 10歳代：5人 20歳代：9人 30歳代：10人 40歳代：12人
50歳代：4人 60歳代：5人 70歳代：1人 (身障者8人、外国人1人)



6月8日(土)

- p.m. 3:30 開会式
- p.m. 4:00 キッズイベント「木登り」
- p.m. 5:00 ジャンボサンドイッチ作り
- p.m. 6:00 キャンプファイアー/地酒自慢会
- p.m. 8:00 野外コンサート



6月9日(日)

- a.m. 9:30 じゃんけん大会
- a.m. 10:30 キャンプフォーラム
- a.m. 12:00 閉会式



第3回ユニバーサルキャンプ大会

3回連続参加者表彰

第3回ユニバーサルキャンプ大会は2003年6月7日から8日まで、群馬県の榛名湖オートキャンプ場で26組68人が参加して開催されました。ツツジが咲き誇り、ハルゼミの鳴き声に包まれた場内で、初日にはキャンプ料理教室、キッズイベント、キャンプファイアー、2日目にはキャンプフォーラム、ビンゴゲームなどのイベントが行われました。しかし最大のイベントはなんといっても参加者同士の心暖まる交流。参加者全員が1年ぶりの再会と新しい出会いを喜びました。



ビンゴゲームでは、協賛企業が提供してくれたたくさんの商品が景品に出て、とても盛り上がりました。閉会式では第3回大会を記念して、ユニバーサルキャンプ大会に3回連続して参加した6組13人が表彰されました。参加者の熱い期待感と高い参加意欲がいやがおうでも大会を盛り上げ、なごやかで、しかも高揚した気分が、終始会場のすみずみまで溢れていました。初参加の人たちも、くちぐちに「こんな楽しかったキャンプははじめて。来年もまた参加します」と言って、満面の笑顔でキャンプ場を後にしました。ユニバーサルキャンプにふさわしく、犬も4匹参加して、子供たちの人気を集めました。

大会概要

開催日：2003年6月7日（土）～8日（日）

開催場所：榛名湖オートキャンプ場

主催：IFCC/アルファキャンパーズ

後援：（社）日本オート・キャンプ協会/（財）群馬県観光開発公社

協賛：株式会社小川キャンパル/コールマン ジャパン株式会社/進誠産業株式会社

キャンベルジャパン株式会社/株式会社アムラックストヨタ



6月6日（金）

118：00～ 前夜祭

6月7日（土）

14：00～ 開会式

15：00～ キャンプ料理教室

16：00～ キッズイベント

20：00～ キャンプファイアー

6月8日（日）

10：00～ キャンプフォーラム

11：00～ ビンゴゲーム

12：00～ 閉会式



第4回ユニバーサルキャンプ大会

チャリティーバザー

第4回ユニバーサルキャンプ大会は2004年6月5日（土）から6日（日）まで、榛名湖オートキャンプ場で開催され、30組77人の参加者がラーメンパーティー、地酒自慢会、フリーマーケット、チャリティーバザー、ビンゴゲーム、キャンプファイアーなどのイベントを楽しみました。

■ラーメンパーティー

おいしいユニバーサルラーメンを作って参加者全員に出前しました。

■フリーマーケット

テント、タープ、ランタンなど新品同様のキャンプグッズが超格安で売り出されました。テントは実行委員会で買い上げ、テントを持っていない参加者にプレゼントしました。

■チャリティーバザー

協賛企業から提供して頂いたアウトドアグッズをチャリティーバザーに出し、売上を社会福祉法人日本肢体不自由児協会（東京都）と市民運動団体とんぼの会（埼玉県）に寄付しました。

■ビンゴゲーム

参加家族全員が素敵な景品をもらって大喜び。

■キャンプフォーラム

キャンプフォーラムを開催し、大会に参加した感想や意見を述べあいました。



大会概要

開催日：2004年6月5日（土）～6日（日）

開催場所：榛名湖オートキャンプ場

主催：IFCC/アルファキャンパーズ

後援：（社）日本オート・キャンプ協会/（財）群馬県観光開発公社

協賛：株式会社小川キャンパル/パール金属株式会社/株式会社スノーピーク/ユニバーサルトレーディング株式会社/進誠産業株式会社/日本緑茶センター株式会社/株式会社アムラックストヨタ



大会プログラム

6月7日（土）

14：00 開会式
16：00 チャリティーバザー
17：00 ラーメンパーティー
18：00 キャンプファイアー
20：00 地酒自慢会

6月8日（日）

9：00 フリーマーケット
10：00 キャンプフォーラム
11：00 ビンゴゲーム
12：00 閉会式



第5回ユニバーサルキャンプ大会

ユニバーサルキャンプ基金

この年、ユニバーサルキャンプを安定的・継続的に開催するとともに、障害者の参加を支援する目的で、**ユニバーサルキャンプ基金**が創設されました。

第5回ユニバーサルキャンプ大会は台風が接近し、前日から雨が降り続くなか、24家族46人全員が午前中に会場に到着しました。小さい子供から高齢者、身障者まで一人も欠けることなく雨と霧についてやってきたことに、参加意欲の高さがうかがわれました。標高1100メートルに位置するキャンプ場は濃い霧に包まれ、その中に満開の山つつじが浮かび上がり、幻想的な雰囲気醸し出していました。

ビッグタープを2つ並べて会場を作り、開会式、オークション、野外コンサートなどのプログラムを進めました。野外コンサートでは2歳と4歳の緒方兄妹が童謡『大きな栗の木の下で』を歌いました。一真はキーボードでディズニーの『狼なんてこわくない』と『星に願いを』を弾きました。矢野さんはフルートで『大きなおぼの古時計』などの曲を演奏しました。

7時頃、雨が小降りになったので、キャンプファイアーをしました。大人も子供も参加して、燃え盛る火を囲んで歌やゲームに興じました。キャンプファイアーが終わったころには雨もやみ、きれいな三日月が顔を見せました。夜が深まるに連れて空は澄み渡り、やがて満天の星空となりました。

翌朝は雲一つない青空が広がり、鳥やハルゼミの音が場内に響き渡りました。朝食を取ったあと、有志が木陰に集まってキャンプフォーラムを持ち、それぞれ「ユニバーサルキャンプ」に対する熱い思いを語りました。

閉会式では第5回大会を記念して大会実行委員長より、第1回大会から連続5回参加した上田ファミリーと鶴田ファミリーに記念品が贈られました。参加者の中で最も遠い仙台からやってきた福原ファミリーには「ロングディスタンス賞」が手渡されました。

ユニバーサルキャンプ基金から、大会に参加した上田訓士君が所属している社会福祉法人日本肢体不自由児協会（東京都）と、八島雅子さんが所属している社会福祉法人ゆめグループ福祉会（東京都）にオークションの売上が寄付されました。最後に全員で記念撮影をして、第5回ユニバーサルキャンプ大会は幕を閉じました。



日程	2005年6月11日（土）～12日（日）
場所	榛名湖オートキャンプ場
主催	第5回ユニバーサルキャンプ大会実行委員会
後援	（社）日本オート・キャンプ協会/（財）群馬県観光開発公社
協力	IFCC / アルファキャンパーズ
協賛	株式会社小川キャンパル/コールマン・ジャパン株式会社/パール金属株式会社/進誠産業株式会社 日本緑茶センター株式会社/バリラ・ジャパン株式会社/株式会社アムラックストヨタ

第6回ユニバーサルキャンプ大会

ジャンボお好み焼き

第6回ユニバーサルキャンプ大会は26家族63人（子供20人）が参加しました。そのうち約半数は初参加とあって、会場はいつも以上にワクワク感に満ちていました。開会式は2時。大会実行委員長の挨拶のあと、参加者一人ひとりの自己紹介。全員で記念撮影をしたあと、協賛企業から提供していただいたアウトドアグッズのユニバーサルオークションが行われました。

オークションのあとはネイチャースコープを使った自然観察会。キャンプ場内で見つけた昆虫や植物を20倍に拡大して観察しました。子供たちはセミの抜け殻、イモムシ、カメムシ、タンポポ、ツツジの花びらなどを採ってきてはネイチャースコープを覗いて歓声を上げました。

夕方、子供たちは2班に分かれてジャンボお好み焼きを作りました。火起こしから野菜を切って生地を練り、大きな鉄板に載せて焼くまで、大人に手伝ってもらいながら、すべて自分たちでやりました。できあがったお好み焼きは約30人分。ソースやマヨネーズをたっぷり塗ってほおばりました。暗くなってからキャンプファイアーをしました。久保山瞭君（9歳）と海上ゆきちゃん（8歳）が二人一緒にキャンプファイアーに点火したあと、大人も子供も参加して、いろいろな歌やゲームを楽しみました。

翌朝は朝からあいにくの雨。それでも子供たちは雨具に身を包み、キャンプ場内を走り回っていました。10時半から参加者有志がビッグテントに集まり、キャンプフォーラムを行いました。

今回の目玉の一つは「お絵描き大会」。子供たち全員にクレヨンとスケッチブックを配り、キャンプ中に描いた絵をそれぞれ発表してもらいました。キャンプファイアーやネイチャースコープで見た毛虫の絵など、可愛い絵がたくさん集まり、参加者から熱い拍手を浴びました。最後に、6回連続して大会に参加した上田訓士君が所属している社会福祉法人日本肢体不自由児協会（東京都）にオークションの売上の一部が寄付され、第6回ユニバーサルキャンプ大会は幕を閉じました。



日程	2006年6月10/11日
場所	榛名湖オートキャンプ場
主催	第6回ユニバーサルキャンプ大会実行委員会
後援	(社)日本オート・キャンプ協会
協力	IFCC / アドベンチャー集団D.O!/マウント・ジャパン
協賛	株式会社小川キャンパル/コールマン・ジャパン株式会社/株式会社ロゴスコーポレーション 新富士バーナー株式会社/パール金属株式会社/進誠産業株式会社/株式会社スノーピーク 株式会社アムラックストヨタ

第7回ユニバーサルキャンプ大会

リサイクルビンゴ

第7回ユニバーサルキャンプ大会は、21家族53人が参加しました。あいにくの雨で、春ゼミの声を聞くことはできませんでしたが、場内には薄紅色をしたヤマツツジが咲き誇っていました。6月9日（土）2時から開会式。最初に大会実行委員長の挨拶のあと、参加者一人ひとりが自己紹介し、最後に全員で記念撮影をしました。

■キッズイベント

キャンプ場で見つけた松ぼっくりや草花を木枠に張り付けて、自分だけのフォトフレームを作りました。



■ユニバーサルオークション

協賛企業から提供していただいたアウトドアグッズのユニバーサルオークションが行われました。小川キャンパル、コールマン、ロゴスなどたくさんの協賛企業の商品がオークションに出品されました。大人も子供も参加して賑やかに競り合いました。

■棒巻きパン

自分でこねたパン生地を竹の棒に巻きつけ炭火で焼きました。まるで高級パンのようなおいしさに大人もびっくりしました。

■キャンプファイアー

雨のためキャンプファイアーは残念ながら中止。その代わり日曜日の朝、子供たちと一緒に大きな焚き火をしました。



■キャンプフォーラム

ビッグタープの下に集まって、ユニバーサルキャンプについて参加者が自由に感想や意見を述べ合いました。

■リサイクルビンゴ

参加者が不要になった品物を持ち寄ってビンゴをしました。目玉のミニバイクをはじめ、玩具、トースター、ドイツ製ピアジョッキなどバラエティーに富んだ景品がずらりと並びました。

開催日	2007年6月9日（土）～10日（日）
開催場所	榛名湖オートキャンプ場
主催	第7回ユニバーサルキャンプ大会実行委員会
後援	（社）日本オート・キャンプ協会/（財）群馬県観光国際協会
協力	IFCC/アドベンチャー集団D.O.!
協賛	コールマン・ジャパン株式会社/株式会社ロゴスコーポレーション/株式会社小川キャンパル 進誠産業株式会社/キャンベルジャパン株式会社/株式会社アムラックストヨタ

第8回ユニバーサルキャンプ大会

イノシシの森探検

第8回ユニバーサルキャンプ大会は21家族61人（子供25人）と犬4匹が参加しました。この年は天候に恵まれ、2000株のヤマツツジが咲き誇るキャンプ場で、1歳から70歳まで幅広い年齢層の参加者が二日間、さまざまなイベントを通して親睦を深めました。

6月7日（土）2時から開会式。最初に大会実行委員長の挨拶のあと、参加者の自己紹介をおこないました。今回がキャンプ初めてという家族が3家族、1歳の子供が3人と例年にもましてフレッシュな顔ぶれ。最後に全員で記念撮影をしました。

開会式のあと、参加者はサイトのあちこちで行われたフェイスペイント、コースター作り、手焼きセンベイ、割り箸鉄砲などのミニイベントを楽しみました。

ユニバーサルオークションでは協賛企業から提供していただいたアウトドアグッズのオークションを行いました。勢いあまって夫婦で競り合ったり、わが子が値をせり上げて親があわててその口をふさぐ場面もありました。

アドベンチャー集団D.O.の薫隊長の先導でイノシシの住む森に行き、イノシシの足跡をたどりました。かなり急な斜面や枝をかき分けながら、イノシシの水浴び場や、木の幹に体をこすり付けた跡などいろいろな発見をしました。

夜はキャンプファイアーをしました。「遠き山に日は落ちて」の歌に迎えられて、たいし君（10歳）とかなみちゃん（6歳）が松明をもって登場し、キャンプファイアーに点火しました。それから大人も子供たちに加わり、歌やゲームを楽しみました。最後に「今日の日はさようなら」を歌って解散しました。



開催日	2008年6月7日（土）～8日（日）
開催場所	榛名湖オートキャンプ場
主催	第8回ユニバーサルキャンプ大会実行委員会
後援	（社）日本オート・キャンプ協会 （財）群馬県観光国際協会
協力	IFCC アドベンチャー集団D.O.!
協賛	株式会社小川キャンパル コールマン・ジャパン株式会社 パール金属株式会社 株式会社ロゴスコーポレーション 進誠産業株式会社 新富士バーナー株式会社 キャンベルジャパン株式会社 エバラ食品工業株式会社 株式会社アムラックストヨタ

ユニバーサルキャンプ2008

秋のユニバーサルキャンプ

老若男女、障害の有無を問わず、誰でも参加できるユニバーサルキャンプの楽しさをより多くの人に知ってもらうために、ユニバーサルキャンプ2008「秋のユニバーサルキャンプ in モビリティパーク」を9月13日～15日、静岡県伊豆の国市長者原のモビリティパークで開催しました。19家族51人が参加、そのうちユニバーサル初参加は13家族と、とてもフレッシュな顔ぶれの大会でした。3日間とも天候に恵まれ、大人も子供もユニバーサルキャンプならではの高揚した雰囲気の中で、楽しい時間を過ごしました。

14日2時からイベント広場のステージで開会式を行い参加者が一家族ずつ舞台上がって自己紹介しました。開会式に続いて野外コンサートを行いました。森さんのリズム伴奏で、詩織ちゃん(9歳)「ドレミのうた」、二千弥君「モーツァルトのメヌエット」、舞桜ちゃん(8歳)「ミッキーマウスマウチ」、啓志君(6歳)がピアノを演奏しました。

割り箸鉄砲

ユニバーサルキャンプ定番の割り箸鉄砲。今回も子供たちの一番の人気でした。

キャンドルサービス

プラスチックのカップにいろいろな絵を描き、夜いっせいに点火してユニバーサルキャンプのサイトをキャンドルで彩りました。

フェースペイント

フェースペイントで会場の華やかさがいっそう増しました。

ネイチャーゲーム

いろいろなゲームを通して、豊かな自然の持つさまざまな表情を楽しみました。



大会概要

開催日	2008年9月13日(日)～15日(月)
開催場所	モビリティパーク 静岡県伊豆の国市長者原 1445-481 TEL: 0558-79-0213
主催	ユニバーサルキャンプ大会実行委員会
協力	IFCC / JAC 公認オートキャンプ指導者/モビリティパーク

ユニバーサルキャンプ2009

野外音楽会

老若・男女・障害の有無を問わず、よちよち歩きの子供からお年寄りまで誰でも参加して楽しめるユニバーサルキャンプ。今年はいくユニバーサルキャンプ2009を9月19日から21日まで、昨年に引き続き伊豆のモビリティパークで開催しました。15家族39人が参加（初参加4家族）。3日間とも天候に恵まれ、大人も子供もユニバーサルキャンプならではの和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しく豊かな時間を過ごしました。



9月20日2時からイベント広場のステージで開会式を行い代表の挨拶のあと参加者が一家族ずつ舞台上がって自己紹介しました。開会式に続いて野外音楽会を行いました。瞭君（12歳）のエレキドラムのリズム伴奏で、小夏ちゃん（7歳）と二千弥君（9歳）がピアノを演奏しました。野外音楽会のあと、協賛メーカーから提供していただいた多数の商品でアウトドアオークションを行いました。モビリティパークの宿泊客も多数参加して大いに盛り上がりました。



今回ユニバーサルキャンプの会場は袋小路のサイトだったため、道路を横断してバトミントンのネットを張ることができました。子供も大人も朝から晩までバトミントンに熱中していました。JAC公認オートキャンプ指導者の佐藤さんがダッチオープンを使った豚肉のコーラ煮、燻製チーズなどの試食会を行いました。なかでも石焼芋は大人気を集めました。



夜は、プラスチックのカップにいろいろな絵を描き、太陽が伊豆の山に沈んだあと、いっせいに点火してユニバーサルキャンプのサイトをキャンドルで彩りました。



開催日	2009年9月19日（土）～21日（月）
開催場所	モビリティパーク 静岡県伊豆の国市長原 1445-481
主催	ユニバーサルキャンプ大会実行委員会
後援	（社）日本オート・キャンプ協会
協力	IFCC / JAC公認オートキャンプ指導者/モビリティパーク
協賛	新富士バーナー株式会社 パール金属株式会社 株式会社小川キャンパル